

令和5年度 豊田市公開保育

27年度より幼保連携型こども園に移行



明照保育園HP



社会福祉法人 明照保育園 理事長・園長 中島 章裕



地域貢献活動を通じた

家庭や子どもを孤立させない

地域共生社会のために

私たちに出来ることは？

現在の日本の家庭状況や 子育て環境は？

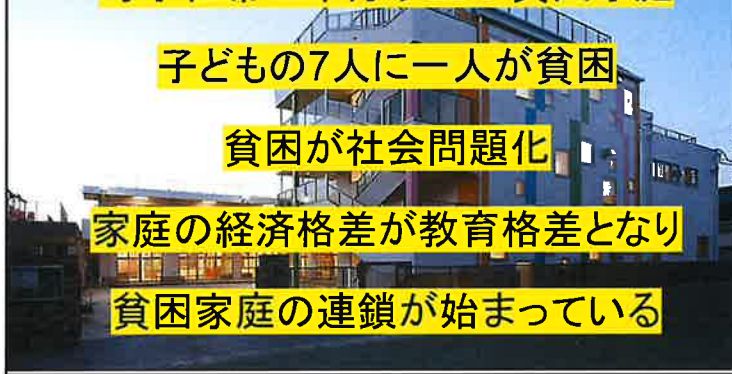
母子世帯の半分以上が貧困家庭

子どもの7人に一人が貧困

貧困が社会問題化

家庭の経済格差が教育格差となり

貧困家庭の連鎖が始まっている



現在の日本の家庭状況や 子育て環境は？

お金がないことだけが、貧困の問題ではない！

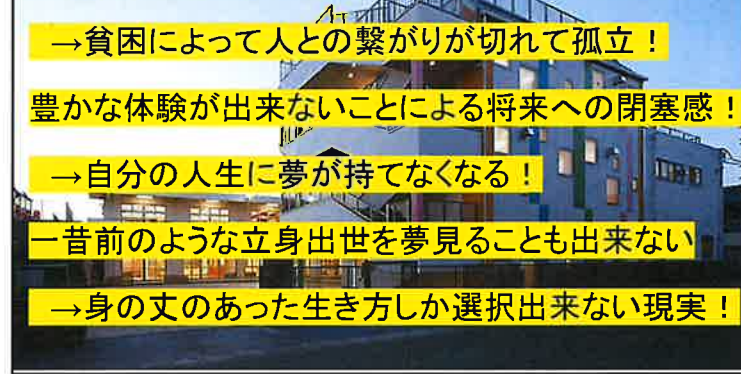
→貧困によって人との繋がりが切れて孤立！

豊かな体験が出来ないことによる将来への閉塞感！

→自分の人生に夢が持てなくなる！

一昔前のような立身出世を夢見ることも出来ない

→身の丈のあった生き方しか選択出来ない現実！



現在の日本の家庭状況や子育て環境は？

貧困だけではない子育て家庭の現状
 子育てで孤独を感じる母親は7割
 「産後うつ」は、一般的なうつの5倍以上

現在の日本の家庭状況や子育て環境は？

子ども虐待による死亡事例等の検証結果(厚労省)
 令和3年度の虐待死は、68例74人
 内訳は、心中による虐待死18例24人、
 心中以外の虐待死50例50人
 心中以外の虐待死事例で死亡した
 子どもの年齢は、0歳が24人で最多
 令和4年度の児童虐待相談は、219,170件で過去最高

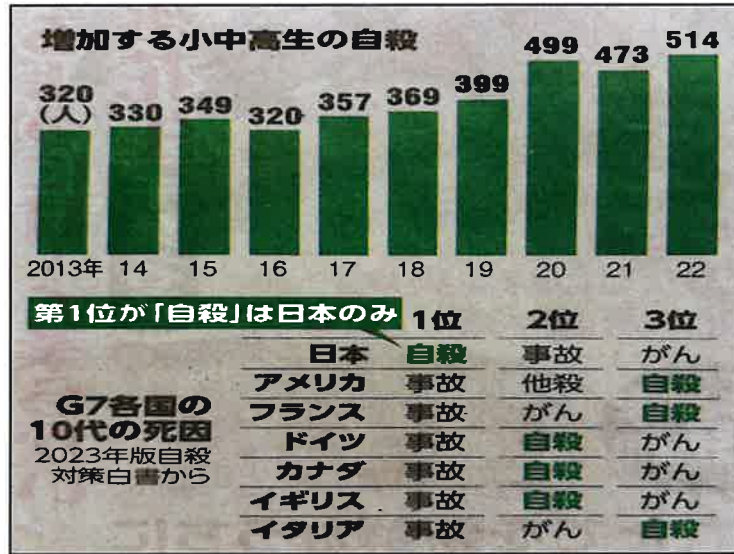
文科省調査(2023)によると

「不登校」と判断された小中学生は299,048人
 不登校傾向がある児童は、中学生だけでも33万人
 将来、納税する大人になるのか？
 生活保護を受けたり、社会不安になるのか？

54万人(推計) 61万人(推計)
 15~39歳までの引きこもり 40~64歳までの引きこもり
 関係性の貧困、心の貧困が増えている

年齢別死因 厚生労働省調査(2022)

年齢	第1位	第2位	第3位
10~14歳	自殺	悪性腫瘍	不慮の事故
15~19歳	自殺	悪性腫瘍	不慮の事故
20~24歳	自殺	不慮の事故	悪性腫瘍
25~29歳	自殺	悪性腫瘍	不慮の事故
30~34歳	自殺	悪性腫瘍	不慮の事故
35~39歳	悪性腫瘍	自殺	心疾患



保育園を取り巻く環境は？

2015年	1,008,000人
2016年	976,978人
2017年	941,000人
2018年	918,379人
2019年	864,000人
2020年	840,832人
2021年	811,622人
2022年	770,747人
2023年	726,000人(推定)

園庭で子どもたちは
元気に遊んでいます。

保育園を取り巻く環境は？

- 予想を上回る少子高齢化
- 現場の疲弊と保育士不足による人件費アップ
- 延長利用者増と障害児増
- 質の低下と不適切保育の増加
- 公立保育園の崩壊(正規率が落ちている)

本園の生き残り戦略は？

- 地域になくてはならない施設になる
- 保育の質を圧倒的に高める
- 社会や地域にどう発信していくか？
- 子育て支援・ほいくる・児童クラブ
- 子ども食堂・不登校支援等(地域貢献活動)

おいしく焼けたかな？

昭和28年 保育園 創立

戦前から農繁期の託児所として開設



ドナタデモオイデクダサイ

保育・教育目標

心身ともにたくましく

思いやりのある子ども

園庭で子どもたちは
元気に遊んでいます。

保育・教育理念

希薄で弱まった地域社会を

補完する環境を整え

親子の健全な成長をはかる

障害児指定園・児童クラブ・不登校支援

本園の現状

近年は、0歳児や1歳児の入園が増加

家庭や地域の子育て力が落ちていく

親子共々の成長に関わりたい

発達障害の子たちの増加

早い段階からの親子への支援

地域の子育て支援施設として

【園庭開放・親子ひろば】 親子の交流・保育にふれる



子育てって

親でなければ出来ないこともあるが

親では出来ないことも多い！

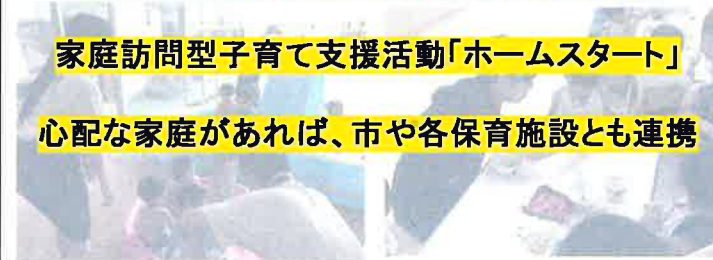
ホームスタートとの連携

【家庭訪問型子育て支援活動】

家から出られない親子をどう支援するか？

家庭訪問型子育て支援活動「ホームスタート」

心配な家庭があれば、市や各保育施設とも連携



地域の子育て支援施設として

【なかよし保育】園児と小中学生の交流保育

月1回土曜日「なかよし保育」

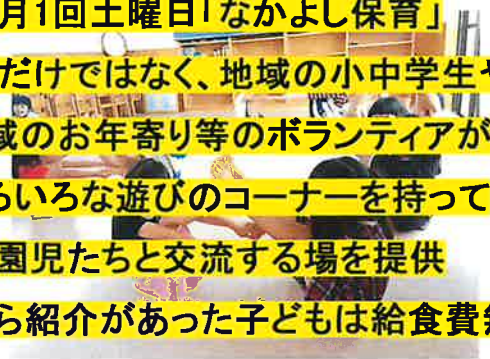
園児だけではなく、地域の小中学生や

地域のお年寄り等のボランティアが

いろいろな遊びのコーナーを持って

園児たちと交流する場を提供

学校から紹介があった子どもは給食費無料



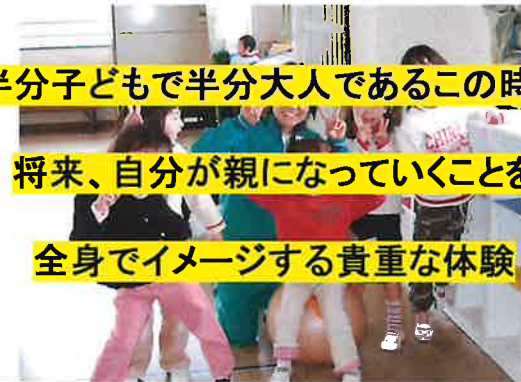
地域の小・中・高等学校との交流活動

家庭科の授業で牟呂中3年生全員との交流

半分子どもで半分大人であるこの時期

将来、自分が親になっていくことを

全身でイメージする貴重な体験



勝手に公開保育!

オープン保育（公開保育）のご案内

今年で6回目となる「勝手に公開保育！」

参加者は、近隣の幼保・小中高の先生たち、
臨床心理士やスクールカウンセラー、
大学や行政・社協も巻き込んで、みんなで交流し、
地域のことを考えていく機会にしています。

これだけ多様な人たちを結びつける組織はありません。

参加者に共通しているのは、子どもたちの健やかな
成長を願い、より良い環境を作りたいと思っていること。

言うなれば、「チーム子育て！」

勝手に公開保育！



子育てのワンチーム！

ひとつひとつの組織を大切にしながらも組織を超えた
人との交流を目指しています。

児童クラブ(H15~)フリースクール

園児との日常的な関わりを大切にしている

お手伝いをしてみんなから「ありがとう！」って言われる幸せ

0歳から12歳までが集う環境が大切

高学年をリーダーとして育てる

一昔前の「子どもの群れ」の復活

楽しいイベントが盛りだくさん

責任ある役割を経験することで子どもは成長する

**今、やらなければならないことと
今やる必要がないことが見えてくる**

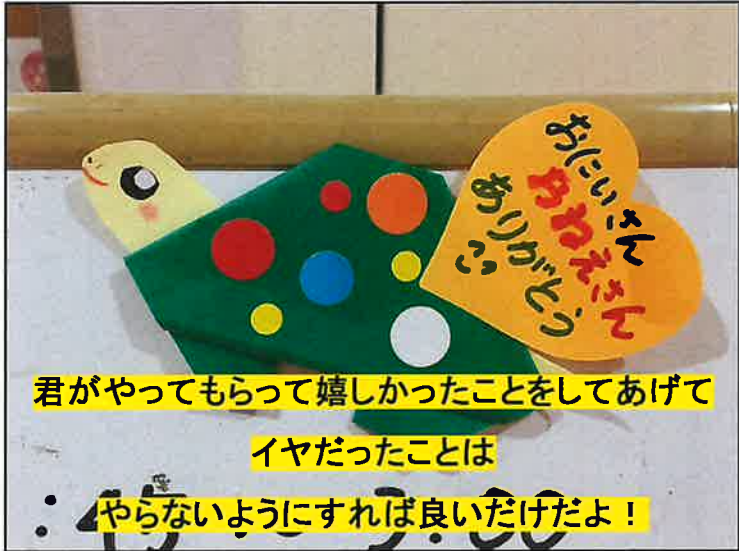
7/24 (火) 夏休みのお手伝い

つき-はな-ほし 1:45 ~ 3:00

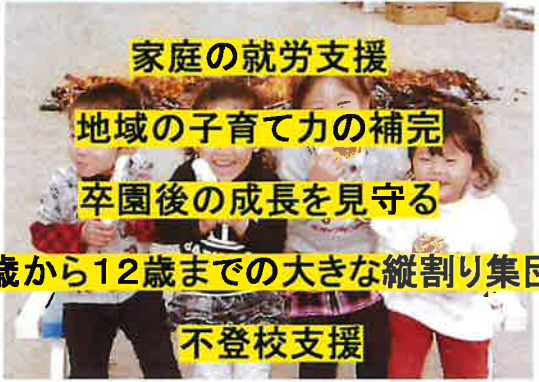
ゆき-そら-あか 2:00 ~ 3:30

	4,5,6年	2,3年	1年
つき	1. かわしりや	1. じげんから	1. かわしりや
はな	1. かわしりや	1. かわしりや	1. かわしりや
ほし	1. かわしりや	1. かわしりや	1. かわしりや
ゆき	1. かわしりや	1. かわしりや	1. かわしりや
そら	1. かわしりや	1. かわしりや	1. かわしりや
あか	1. かわしりや	1. かわしりや	1. かわしりや

あらかじめ保護者の了解を得て掲載・使用しています。

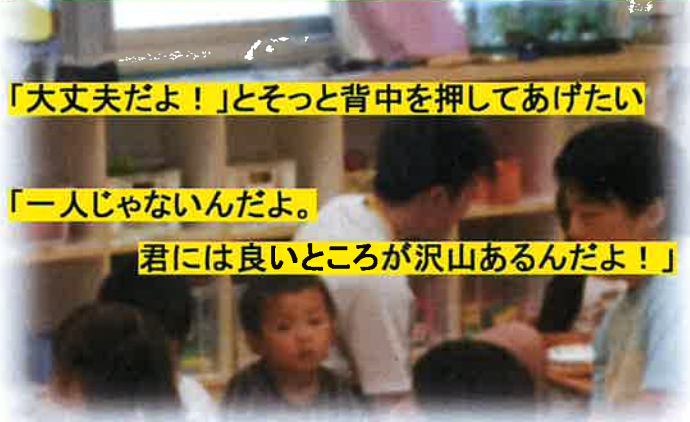


児童クラブの役割

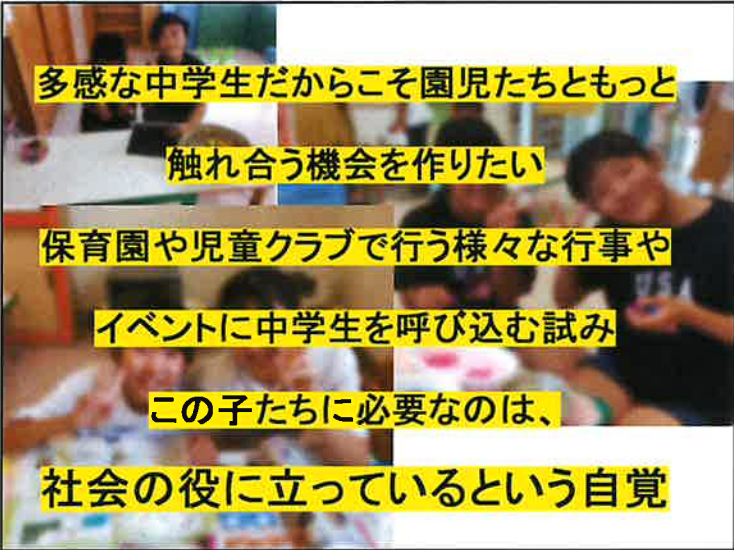


家庭の就労支援
地域の子育て力の補完
卒園後の成長を見守る
0歳から12歳までの大きな縦割り集団
不登校支援
おいしく焼けたかな？

不登校支援(スリースクール)



「大丈夫だよ！」とそっと背中を押してあげたい
「一人じゃないんだよ。」
君には良いところが沢山あるんだよ！



多感な中学生だからこそ園児たちともっと
触れ合う機会を作りたい
保育園や児童クラブで行う様々な行事や
イベントに中学生を呼び込む試み
この子たちに必要なのは、
社会の役に立っているという自覚

地域における公益的な取組

【教育支援センター・中学グリーンルーム生との交流】

同年代の子たちといると臆してしまう子も
園児たちにとっては、何でも出来る
スーパーお兄ちゃんやお姉ちゃん

子育て制度の体制は整っていても
様々な専門機関同士との
連携はまだまだ足りていない



子ども食堂

【食を通して豊かな心・生活・関係づくり】
 現在は、毎回50人前後の利用者

一緒に食べるだけで自然と笑顔になる

経済的なものに関わらず、孤独な子育てや
 時間に追われた日々のストレスを軽減する大きな意義

「毎晩、子どもと自分だけで息が詰まることもある」
 食育活動の一環としての子ども食堂

支援が必要な家庭や子どもたちの利用者も増えてきた
 毎週木曜日の子ども食堂「おとなりさん」

無料学習支援

毎週 火・木曜日

元校長先生がボランティアで無料学習支援

地域で必要な施設になるために

「子ども食堂・無料学習支援・不登校支援」

→地域と結びつきが強くなる

忙しい保育園がより忙しくなる？

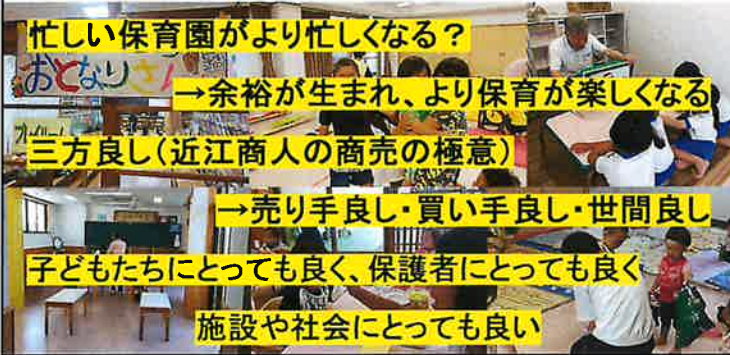
→余裕が生まれ、より保育が楽しくなる

三方良し(近江商人の商売の極意)

→売り手良し・買い手良し・世間良し

子どもたちにとっても良く、保護者にとっても良く

施設や社会にとっても良い



こども園・保育園は「地域の宝」

都会では、こども園や保育園は迷惑施設？

「三方良し」の精神を持って施設を運営すれば

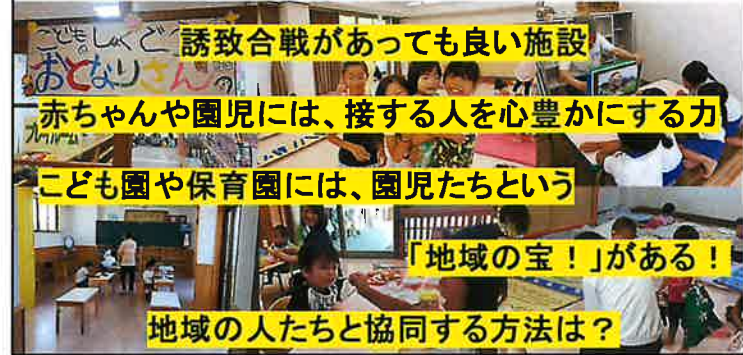
誘致合戦があっても良い施設

赤ちゃんや園児には、接する人を心豊かにする力

こども園や保育園には、園児たちという

「地域の宝！」がある！

地域の人たちと協同する方法は？



こども園・保育園は「地域の宝」

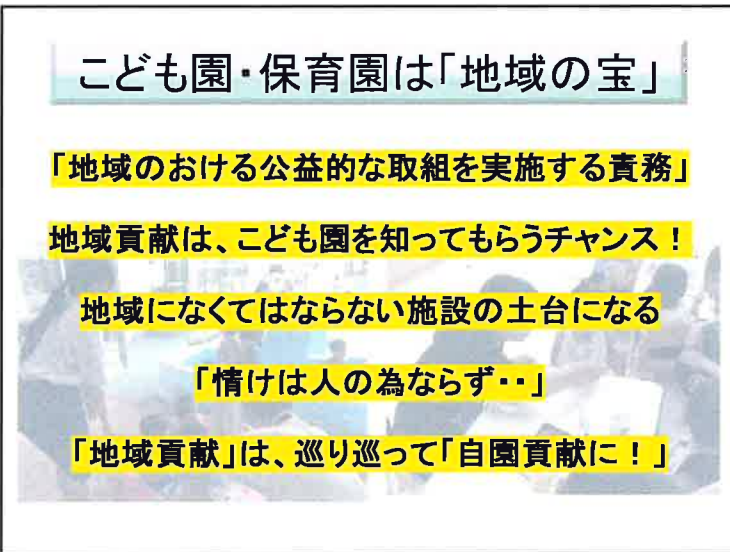
「地域における公益的な取組を実施する責務」

地域貢献は、こども園を知ってもらうチャンス！

地域になくなくてはならない施設の土台になる

「情けは人の為ならず・・・」

「地域貢献」は、巡り巡って「自園貢献に！」



ドナタデモオイデクダサイ

困っている子どもや親がいれば助けてあげたい！

子どもたちが成長する環境を良くしたい！

新たな社会にも対応出来るこども園・保育園

目新しいことばかりが求められているのではなく

今まで培ってきた保育文化を大切にしながら

先人たちが行ってきたことの繰り返し

焼きいも、ほっかほか！

